

行政区長13名を委嘱

平成20年の行政区長13名が決定し、1月7日(月)役場第一会議室において、委嘱状交付式が行われました。

式では、木賊町長から退任された7名の区長に感謝状が贈呈され、今年の13名の区長一人ひとりに委嘱状が交付されました。

続いて、木賊町長が「退任される区長様には協働のまちづくりにご協力ありがとうございました。新しい区長様には、町発展のため一層のご協力をいただけますようお願いいたします」とあいさつしました。

行政区長は、みなさんの地域の要望などを町へ伝える太いパイプのような重要な役割をしてくださいます。区長の任期は、今年12月までです。

また、行政区長協議会の役員が次のとおり選出されました。(敬称略)

会長 西牧英二(鏡田区)
副会長 渡辺俊広(鏡石4区)
会計 大河原晟(久来石区)
監事 齋田一男(成田区)
真島鉄夫(仁井田区)



木賊町長から委嘱状を受領する西牧区長

新行政区長のみなさん

任期
平成20年1月1日から
平成20年12月31日まで

- 仁井田区(新) 真島 鉄夫さん
- 鏡田区(再) 西牧 英二さん
- 高久田区(新) 根本 達夫さん
- 鏡石4区(再) 渡辺 俊広さん
- 鏡石2区(再) 今駒 弘さん
- 鏡石3区(新) 有我 忠さん
- 豊郷区(新) 小池 幹雄さん
- 鏡石1区(再) 小貫 辨明さん
- 鏡石区(新) 面川 平六さん
- さかい区(新) 込山 清人さん
- 久来石区(再) 大河原 晟さん
- 旭町区(新) 小出 幹夫さん
- 成田区(再) 齋田 一男さん

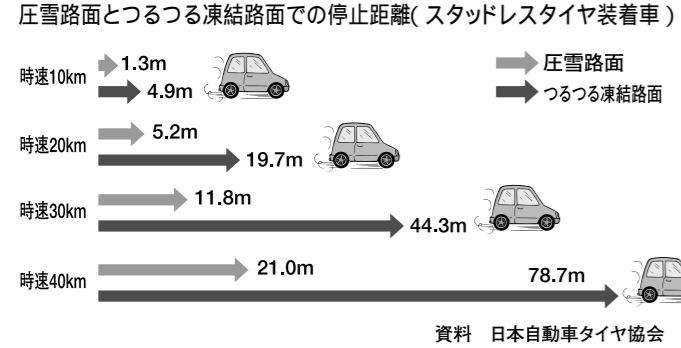
冬の運転対策 万全ですか

全国的に見ると、昨年1年間の交通事故による死亡者数は54年ぶりに5千人台となるなど、飲酒運転の罰則強化などにより減少傾向にあります。昨年の須賀川警察署管内の事故件数は、県内で一番高い増加率を記録することとなりました。ここでは、路面状態が悪いこの季節の運転対策など、須賀川警察署交通課長のインタビューなどを交えて紹介します。

本当に怖い 冬の雪道

昨年の交通事故発生状況は、事故件数93件、死者1名、傷者数114名で、前年と比較すると大幅に増加しました。交差点での追突や出会い頭の事故が多く、今後交通安全対策協議会を中心とした交通事故防止運動の重点項目となるところです。

冬は、朝晩の気温が急激に下がり、路面が凍結するなど運転には十分気を遣う



季節です。1月6日には、町内でスリップが原因と見られる事故により、軽自動車運転する女性が犠牲となりました。ドライバーのみなさんは、交差点、橋の上、日中でも日が当たらない日陰部分などでは特に注意して運転してください。凍結・積雪路面での注意事項を下記のとおりまとめましたのでご覧ください。

問い合わせ先
町総務課
☎ 2111

冬の運転 6カ条



【凍結・積雪路面での注意事項】
急発進・急加速・急ハンドル・急ブレーキなど「急」が付く運転はしない。制動距離が長くなることから、車間距離を長くとり速度は控えめに。カーブや交差点を進行する際は、あらかじめ手前で減速し、カーブや交差点内ではブレーキをかけない。一見濡れているように見える路面でも、凍結している場合があるので、路面状況を十分に確認しながら進行する。スタッドレスタイヤや4WD(四輪駆動自動車)を過信しない。降雪時は、極端に視界が悪くなるので状況に応じた速度に減速する。

昨年の交通事故の形態を見ると、追突や出会い頭の事故が多かった。昨年の死亡者数の6名のうち、4名が高齢者でした。夜光反射材の活用促進など、高齢者の事故防止を進めていきたいと思えます。また、飲酒運転は罰則強化

インタビュー
須賀川警察署 交通課長 佐藤仁康 氏

「安全運転」を心がけてほしい。まず、十分な車間距離、②10分早めの出発、③10%の減速の3つの10運動を推進しています。一人一人が気持ちに余裕を持って運転することが交通事故の防止につながると思っています。